

# 留学報告書 II (2021 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾湘南藤沢中等部 2 年
留学先校名	Shrewsbury School
留学期間	2021 年 9 月から 2022 年 7 月まで

## 留学を振り返って

### 留学先では、期待どおりの生活を過ごせましたか？

イギリスのシュルーズベリー学校では、初めてのことや驚く出来事がたくさんありましたが、貴重な経験ができました。

良かった点は、新しい友達と英語をしゃべりながら日本とは全く違う文化の生活ができたことです。また、学校生活では、Rowing, BASE, Math Powell prize など、たくさんのイベントやプログラム、スポーツに参加することができました。

悪かった点は、個人的な意見なのですが、生徒の訛りが特徴的であったため、特に最初のタームは聞き取るのに苦労しました。イギリスで育った人でないと分からないような独特の会話は、なんとなく推測して話をしていました。

### クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

クラブ活動は、Term1 では、Swimming と Fives、Term2 では、Netball と Fives、Term3 は、Rowing と Tennis をしました。最終の Term3 では、Rowing を週に 4 回（火、水、金、土）、tennis を週に 1 回（水）という活動でした。Rowing は Shrewsbury School の伝統的な、また夏に人気なスポーツで、学年の 1/3 が選ぶほどです！Term4 で行われた Shrewsbury 以外も参加する学校別の対抗戦では、私のボートが 2 位になり、表彰されました。

毎週月曜日にある Monday society では、term1 では math society、term2 では shooting society、Term3 は、art society に入りました。その他、二学期から続いている BASE というカリキュラムが毎週木曜日にあり、camp craft や eco-garden、CCF などのアクティビティを学びました。また、Sport-day では、1500m 走やリレーにエントリーし、寮対抗のリレーでは、3 位になりメダルをもらいました。学校行事とは関係ありませんが、秋のお休み期間中にホストファミリー先で、地域のパンプキンカービングコンテストに出場し、優勝しました。賞状と大きなチョコレートボックスをもらいました。

また、3 学期のテストが終わった後には、キャンプや水上活動などの野外活動週があり、テントでの宿泊など、とても面白く、良い思い出になりました。

### ルームメイトはどのような方でしたか？(1 人部屋だった場合は、同じ寮の友人について教えてください。)

ルームメイトは、半学期ごとに変わり、毎回メンバーが違います。二学期と三学期の前半は、私のルームメイトは三人いて、同学年が一人、一つ上の学年が二人という組み合わせで、一つ上の学年の生徒とも仲良くなれる良い機会だったと思います。三学期の後半は、ルームメイト全員が同じ学年でした。就寝時間を過ぎてからも少し話をしたりしていたわけですが、とてもリラックスできる時間でした。

### アドバイザーとの面会がありましたか？ どのような内容でしたか？

一学期ごとに二回、宿題をやる時間 (top school time) に、ガーディアン会社の担当者と面会をしました。担当の方とは、学校で困ったことはないか、どのようなイベントがその学期に行われたか、休暇中はどういうことをするのかなどを話しました。そして、なにか困っていることがあった場合は解決策と一緒に考えてくれました。

### 短期・長期休暇はどのように過ごしましたか？

通常は、ホストファミリーの家で休暇を過ごし、時々近場にあるショッピングセンターやイギリスの有名な場所に連れて行ってもらいました。また、ホストファミリー宅では、パーティが開催されたり、他にもホームステイしている人がいたので、英語を話す機会はたくさんありました。また、犬を飼っていたので、一緒に散歩に行ったり、遊んだりしました。

長期休暇のクリスマス休みには、ピパのキャンプに一週間行きましたが、コロナ感染者が出て、隔離状態となりました。なお、今年の春までは、まだまだコロナの影響があり、キャンプなどには積極的に出かけることはしませんでした。

## 学業について

### 各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。

科目は全部で 18 教科あり、授業は一日に 7 教科、40 分間ずつあります。授業の内容は、日本のように難易度によって学年で習うものが違うというよりは、つながりのあるトピックを順番に習っていくスタイルです。例えば、Math の授業では、日本では高校で習う SOHCAHTOA を三平方の定理のトピックの続きとして習いました。また、テストのために暗記をするという授業ではなく、自分の考え方を問われるエッセイをたくさん習い、書きました。

課題として宿題が出ますが、毎日寮で 'top school time' という時間が設定され (19 時から 21 時まで)、その時間に宿題をしています。宿題の量は日本と比べてかなり多いです。Essay のような文を書く宿題や Educake、Seneca などコンピューターアプリを使う宿題が主にありました。

試験は、10 月と 12 月、2 月にあった progress test と 6 月の学期末の 4 つの大きなテストがありました。どれも 12 科目あり、一年を通しての自分の成果を見られるようになっていきますし、各教科の先生からコメントも書かれています。その後、tutor period に自分のチューターから成績表をもらい、振り返りをしました。

また、学校の授業以外にも、イギリス全土の共通テストや数学などのテストがありました。

最終的に、私は、2022 年度の 3rd Form 成績優秀者 (10 名) に選ばれ、とても嬉しく思っています。

## 今後について

### この派遣留学を通して、自分自身にどのような変化があったと感じていますか。

この一年間の留學生活を通して、自分が変わったと思うのは、多様な視点から物事を見られるようになったことです。イギリスの Shrewsbury School は、日本とは全く違う文化を持っていて、彼らが何を大切にしているのか、様々な体験をすることで知ることが出来たように思います。一方で、文化の違いや自分の英語力による、つらい出来事も時にはありました。しかし、友達の手も借りながら困難を乗り越えていくことによって、視野が広がり、人を見る目も養われたと思っています。また、寮生活を通じて人任せではなくなったため、物忘れが少なくなり、自主性を高めることができたとも感じています。家族から離れて寮で生活す

この Boarding School の仕組みは、自分一人で物事を対処する力を身につけることに一役買っていると思います。それと同時に、家族や友達のありがたみを感じています。

### 今後の派遣留学生へのアドバイス

(事前に日本で学習しておいた方がよいことや、用意しておいた方がよいことがあればお知らせください)

授業の内容は、理解のできる範囲でした(中には中学1, 2年で習ったものも含まれていました)。しかし、英語の単語の意味がわからないことがよくあったので、電子辞書の持参をおすすめします。また、寮では盗難事件が数回起こり、私もコンピューターチャージャーと現金80ポンドを盗まれてしまいました。コンピューターチャージャーは幸い戻ってきましたが、現金は戻ってきませんでした。そのため、持ち物には名前を書く、パッドロックをかける、貴重品は house mistress に預けるなど、安全な場所に保管する対策が必要だと思いました。

充実した一年をおくってください!

以上

